

# ORICNEWS

# 翔飛

ひかり



No.7 (2005.1)



ORIC 研究室棟入口

## - 目次 -

巻頭言	2
研修・交流会活動	3～5
入居者の活動・トピックス	5～7
入居企業のご紹介	7
新入居者のご紹介	8
求人案内・入居案内	8

# 新年のごあいさつ



## 「情熱県政で岡山元気づくり」

岡山県知事 石井 正弘

新年あけましておめでとうございます。  
皆様には佳き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、歴史的な変革の時代に、引き続き三期目の県政を担当させていただくことになり、その責任の重大さに身の引き締まる思いで新年を迎えました。「おかやま夢づくりプラン」に基づき、夢と希望にあふれる「快適生活県おかやま」の実現に向け、情熱県政の推進に全力を尽くしてまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

本年は、「岡山元気づくり・三つの創造」政策として、「活力ある産業の創造と雇用の確保」、「将来の地域社会を支える人づくり」、「県民の生涯にわたる快適で安全・安心な生活の確保」の創造を、県民力を結集した「人の和」で進め、「産業」や「人」、「まち」をもっと元気にしていきます。

とりわけ「活力ある産業の創造と雇用の確保」では、バイオ、超精密、医療・福祉・健康、環境、

IT、物流の6分野を重点とした新産業の創出、ベンチャー企業の育成、中小企業の支援による産業の活性化と雇用の確保をするための政策を強力に推進してまいります。

岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は、設立から1年9ヶ月を経過いたしました。入居者の皆様方は、新技術・新製品の開発、新事業の創出をめざした取組が鋭意進められており、高度な技術力、成長可能性を持つ企業として注目を集めていることを大変心強く思っております。

ORICでは、研修交流会や発表展示会、さらには、商談会といった営業販売支援活動も活発に展開されており、岡山県から「孵化した」新しい技術や製品、サービスが全国にそして世界に羽ばたいていくことを期待いたしております。

皆様方の今年一年のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

## イベント案内

岡山リサーチパークオープン10周年記念 !!

### 第9回岡山リサーチパーク研究・展示発表会

日時 1月21日(金) 9:30~18:30  
会場 テクノサポート岡山(岡山市芳賀5301)  
参加費 無料(交流会は参加費2000円)

#### 【プログラム】

9:30~10:45 紹介セッション  
全テーマを各分野ごとに座長がまとめて紹介  
11:00~15:00 展示発表セッション  
パネル・実物等を展示し、展示物の前で発表者が説明  
15:15~16:45 特別講演会「人の心と物の世界」  
GKデザイングループ代表 栄久庵 憲司 氏

16:45~16:55 表彰式(審査で優秀と認められた研究展示発表数件を表彰)  
17:00~18:30 交流会

参加申込み 1月14日までに、団体名、氏名、交流会参加有無、連絡先を、FAXやメールでお申込みください。HPからも申込みできます。

#### 【申し込み先・問い合わせ先】

(財)岡山県産業振興財団 技術支援部  
E-mail: sginfo@optic.or.jp  
TEL: 086-286-9651 FAX: 086-286-9676

展示発表テーマの詳細等は、次でご覧ください。

<http://www.optic.or.jp/zaidan/s32/CRP/orptenjihapyou.htm>

# 研修・交流会活動

## 10月度 交流会及びセミナーの開催

### 交流会

事業紹介：ナノプレジジョンエリア事業共同研究室（産学連携）  
（株）VOIPACK JAPAN

ナノプレジジョンエリア事業共同研究室は都市エリア産学官連携推進事業（地域の個性を重視し大学の知恵を核とした産学官の連携による文部科学省の補助事業）で、岡山県西部の極微細加工技術を持つ安田工業・化繊ノズル研究所と岡山大学・岡山理科大学及び岡山県工業技術センターが連携して研究開発を行っています。ナノスケールの超精密生産技術の確立により、ミクロの物づくり岡山に貢献していきたいとのことでした。

（株）VOIPACK JAPANは日本から中国に進出している企業7万社を主なターゲットとしてIP電話システムの開発及び機器販売しています。特徴は光ファイバーやADSL回線など高速回線だけでなく、中国内陸部などに見られる低速回線（通信速度10K）でも利用可能で、かつ、既存のサービスに比べ、大変廉価に利用できることにあります。またORIC入居企業であるアイ・エス・ティとユニバーサルデザインのグループウェアの共同開発を行っているとのことでした。

### セミナー

#### 「ベンチャー経営」

続いて三菱総合研究所の内海氏（ORIC非常勤IM）より、『ベンチャー経営』と題してテクノロジー系ベンチャー経営の特徴と成長段階別に見たベンチャー経営の特徴と課題について講演がありました。

## テクノサポート交流サロンの開催

10月12日、岡山リサーチパーク内に立地する研究開発機関・企業の研究者技術者相互の交流の場として開催されているテクノサポート岡山交流サロンがORICで開催されました。

話題提供として

1. 岡山県産業振興財団からフランクフルト国際自動車技術見本市参加報告
2. 岡山県産業振興課より北欧（フィンランド）の産学官連携状況の視察報告
3. ORIC入居企業の業務紹介
  - ・（株）シスコ・コミュニケーションズ「自動検針システム」
  - ・（株）夢石庵「健康食品」
  - ・（株）VOIPACK JAPAN（有）アイ・エス・ティ「IP電話システム」

その後ORIC中庭にてバーベキュー・パーティを開催し多数の方が参加し、交流を深めました。



VOIPACK JAPANの事業紹介の様子

## 11月度 交流会及びセミナーの開催

### 交流会

#### 事業紹介：（株）アイ・サポート

11月の交流会は19日に開催され、事業紹介は（株）アイ・サポートが行いました。

（株）アイ・サポートは先に入居していた（株）川本が中心となり2004年10月28日に設立された会社で、入居時の計画の具体的展開を進めていく中で生まれた新会社です。

（株）アイ・サポートの事業の一つは水処理施設遠隔監視システムの開発・販売で、水処理施設（浄水場、下水処理場）の情報処理装置と他の関連施設にある情報処理装置を通信回線で接続し、センターで監視、制御を行い、合わせて日報、月報なども作成します。第二の事業はこれらの施設情報管理システムの開発・販売で、GIS（地図情報

システム)を活用した上下水道などのライフラインの施設管理を行うシステムが対象です。第三の事業は上記二つのシステムを使って運営・管理業務を受託する事業です。同社の動きは、本年3月施行の水道法改正により、水道の管理に関する技術上の業務の全部または一部を第三者に委託する事が出来るようになった事を受けてのもので、長年にわたる(株)川本の事業経験を活かし、県外のパートナーとの提携をしての万全の取り組みといえるでしょう。

また、同社は県内で技術を確立し、事例を作り、その後は県外、更には上海などを足がかりに中国大陸への事業展開も視野に入れているとの事です。



(株)アイ・サポートによる事業紹介の様子

## セミナー

### 「特許についての質疑応答式セミナー」

11月のセミナーは岡山県知的所有権センター/(社)発明協会岡山県支部との共催により、「特許についての質疑応答セミナー」として行われました。同協会は県内各地で特許等の情報調査・活用方法、出願の仕方、制度など特許管理全般について、参加者の質問に答える形でのセミナーを進めており、今回、ORICで開催して頂きました。

セミナーでは佐藤新吾特許情報アドバイザーと宮本邦男出願アドバイザーが説明され、まず、講演では、新しい事を始める前には必ず先行技術を調べる必要があるが、これは、自分の技術の権利確保の前に他人の権利を侵害しない為でもあると指摘、また、特許権利化までのプロセスと費用の目安が説明され、関連する国内特許・実用新案の無料調査用データベース、特許電子図書館が紹介されました。特許電子図書館内のデータベースの調査の仕方については、会場内のPCをインター

ネット接続し、参加者からの質問に答える時にはプロジェクターを用いて、電子図書館の検索法、操作法を全てスクリーンに表示して説明をされ、参加者からは「具体的な操作が良く判り、実践的であった」と好評でした。

## 第3回 ORIC IT研究会の開催 LAMPセミナー

11月17日第3回IT研究会を開催しました。参加者は入居企業6社、外部からの参加企業を含め、19名となりました。

今回のテーマはリナックスを軸としたオープンソース技術でした。自治体を中心としたオープンソースへの期待はよく知られています。その良さを活かした事業展開の可能性を討議しようとの目的で、(株)シスコ・コミュニケーションズのアレンジで、(株)スマートスタイルから説明を受けました。

同社はリナックス・ベースのシステム開発環境としてLAMPを提案、LAMPはオペレーティングシステムのLinux(L)、ウェブ環境のApache(A)、データベースのMySQL(M)、スクリプト言語のPHP/Python/Perl(P)の頭文字を並べたものです。LAMP環境はそれぞれの構成要素が安価であり必要なハードウェア環境も軽く、リナックスの良さを引き出せるとしています。具体的な使い方を織り交ぜて判り易く説明され、開発環境の完備状況と有利さを説明しました。

## 12月度 交流会及びOAセミナーの開催

### 交流会

### 事業紹介：(株)光フィジクス研究所

光フィジクス研究所は4人の電子工業・レーザー・ポリマーなどの各分野の技術者がオーダーメイド型研究開発提案を行う企業として設立。レーザー技術利用分野で製品化や高性能化のアイデア提供やプロトタイプの商品開発を行う等、知識を売ることをビジネスモデルとしています。

熱を出さないで切るフェムト秒レーザーの加工例の分かりやすい説明を始め、フェムト秒レーザーがナノ加工の分野、医療、生化学、バイオ産業など幅広い分野で注目を浴びていること、また、同社がフェムト秒レーザー分野で永年の技術蓄積

を有することや、岡山県から、県内中小企業の優れた技術、独創的な技術を有する企業として、「岡山わが社の技に認定」に選ばれたこと等の紹介がありました。

## セミナー

### 法律セミナー「中小企業経営者に必要な契約上の注意点」

今月のセミナーはO I Aセミナーとして開催され、小林裕彦弁護士が『中小企業経営者に必要な契約上の注意点』と題して講演されました。

望ましい契約とは、「守りやすく破られにくく、リスクの対処が十分出来ていること」や「戦略的（不利なところは曖昧に、有利なところは明確に）に作成することが必要であること、また、契約書で稼げるのが大切であることや、契約相手の様式での契約は簡単に調印しないことが重要とのこと

でした。更に、メモや走り書きでも意見が一致していれば、予備的合意書として印を押していなくても認定されるケースや、重要な事項についてはボイスレコーダー等を利用し相手に確認し録音しておくこと等、実務的に役立つお話がありました。

講演の後、個別相談も実施し、相談者からは、良かったと好評でした。



セミナーの様子

### インキュベーションマネージャー研修受入れ

11月9日から12日迄の4日間、日本新事業支援機関協議会（JANBO）が実施しているインキュベーションマネージャ養成研修（IM研修）プログラムのインキュベータ実習がORICで行われました。

研修者は4名で、ORICからは施設運営、支援業務内容、入居企業を紹介し、さらに連携しな

がら活動している産業振興財団、工業技術センター、岡山大学地域共同研究センター、BIO（ビジネスインキュベータおかやま）を訪問、意見交換・交流を図りました。今回の受け入れで、ORICの活動はもとより、地域のベンチャー支援の現状、入居企業各位の活躍の状況が発信できたのではないかと思います。

## 入居者の活動・トピックス

### ビジネスマッチング in香川

香川県と近隣県の企業が新製品やニュービジネスを展示発表する『ビジネスマッチング in香川』が10月19日～20日にサンメッセ香川において開催（但し20日は台風23号の為中止）されました。ORICからは岡山県参加企業5社中4社が参加

しました。

またエフ・エス・ケイとシスコ・コミュニケーションズがビジネスプランの発表（香川2社・岡山2社）を行いました。19日夕には、岡山県産業振興財団、香川県産業支援財団、両県、両県の同友会、O I Aと出展企業との意見交換会及び交流会が催されました。

企業名	部屋番号	製品・技術・サービス名
(有)エムテクノロジー	211号室	蛍光体分光認証システム
(有)エフ・エス・ケイ	112号室	セキュリティ管理システム・セキュリティシステム
(株)シスコ・コミュニケーションズ	315号室	TASS GISシステム・AMR用センサー 2 VG
(株)VOIPACK JAPAN	217号室	IP電話システム（日本～中国）

## ベンチャープラザ岡山 2004

岡山県内のベンチャー企業が新製品の展示やビジネスプランの発表を行うベンチャープラザ岡山 2004は 11月 26日にテクノサポート岡山で開催されました。

香川県からの企業の参加を含め 70を超える出展が行われ、活況を帯びた展示会となりました。当センターからも、シスコ・コミュニケーションズを始め下記の 8 社が出展し、各社とも商品の P R や商談が進み、出展の成果を感じ取っていました。

入居者のエイムテクノロジー社の「蛍光認証システム」は、紙幣、証券等の真偽判定の検査装置として、後日の日経新聞にも掲載されました。また、ビジネスプランコンテストでは、第一次審査で選ばれた 6 者のプラン発表が行われ、最優秀賞に岡山大学医学部の三井秀也氏の「医療用ハエ幼虫の



オープニング・セレモニー

製造・販売」が選ばれました。最優秀者には賞金 500万円と当センター研究室の無料での利用が認められます。現在、同氏は起業を行い、新年早々 O R I C に入居の予定になっています。また、O R I C からは、I S T の吉井氏が、同じ入居企業である VOIPACK社と連携して、「ユニバーサルデザインを取入れたグループウェアの開発」を発表し、審査員特別賞を得ました。

企業名	製品・技術・サービス名	企業名	製品・技術・サービス名
(有)エイムテクノロジー	蛍光体分光認証システム	シックス(株)	テレビ会議システム「eKAIGI」
(有)エフ・エス・ケイ	セキュリティのカメラシステム	花田技研工業(株)	人工セラミックの着色骨材原料
(株)ザイン	経営革新をアシストするマネジメントシステム (ISO・情報セキュリティ・収益性改善)の構築支援	(株) VOIPACK JAPAN & (有)アイ・エスティ	IP電話システム 「IPPBX」、「IPGW」
(株)シスコ・コミュニケーションズ	機械式メーター自動検針システム		



(株)シスコ・コミュニケーションズのブース



展示会場



ビジネスプランコンテスト表彰式

## ベンチャープラザちゅうごく 2004 出展レポート 花田技研工業(株)

### 具体的な試作依頼やV C との出会いなど、手ごたえ十分！

花田技研工業(株)は 12月 1日(水)～2日(木)の 2日間、広島県立広島産業会館で開催された「ベンチャープラザちゅうごく 2004」に参加、製品展示とビジネスプランの発表を行いました。このイベントには中国地域で公募・審査により選ばれた 10社が参加、同社は岡山県から唯一の参加企業でした。花田社長に参加目的、成果等について

以下通り伺いました。

展示・発表の内容は、ごみ焼却炉から出る溶融スラグに表面処理と着色処理し、着色骨材「人工セラミック」としてリサイクルする事業で、参加目的は資金調達と販路拡大、販売代理店募集でした。「手ごたえは十分あった」というのが同社の率直な感想です。同社の人工セラミックは屋外で使用し

でも長持ちするうえ、色落ちしないという特長があり、住宅の外壁塗料や路面舗装など、建築、土木、ガーデニング分野におけるさまざまな用途が考えられます。現在この用途で使用されている砕石などの骨材原料は、自然破壊につながることから利用抑制の兆しがあり、それらに替わるものとして、今後は多方面で利用が広がっていくと期待しています。2日間を通じて、コンクリートメーカーやコンクリート2次製品メーカー、建材メーカー、建築設計会社など多数のお客様が同社のブースを訪問し、「すぐ試作品を作りたい」という申し出も複数ありました。また、同社は来年度に増資を計画しておりますが、ビジネスプランを聞かれたベンチャーキャピタル2社がブースを訪問し、製品の内容と今後の展開について詳しく話しをしました。

同社は、今回の出展により中小企業基盤整備機

構中国支部から推薦を受け、1月26日(水)~27日(木)に東京国際フォーラムで開催される「ベンチャーフェア JAPAN 2005」にも出展することになりました。



同社の展示ブース

## 入居企業のご紹介

### 株式会社シスコ・コミュニケーションズ

(株)シスコ・コミュニケーションズは2004年6月に岡山市に設立されました。事業内容は、電気、水道、ガスなどの自動検針システムの開発・販売です。

現在、これらのメーターは殆どが機械式で、毎月、検針員が各戸のメーターを目で見て検針しています。自動検針のニーズは前からありますが、電子式メーターが高価な為、なかなか普及していないのが現状です。

同社のシステムでは、既存の機械式メーターにカメラ付きのセンサーを設置し、カメラでカウンターを撮影、解析後、無線でデータを検針センターに送ります。そのため、検針員がいちいち訪問しなくても検針する事が出来ます。更に同社は、検針センターのシステムにGIS(地図情報システム)機能を組み込む事で、配線、配管情報と顧客情報を一元的に管理出来るという付加価値を実現しており、導入する顧客の業務のグレードを大いに高める事が期待されています。

同社の強みはセンサー技術と合わせて無線による検針データ収集方式にあります。各戸が単独で公衆通信網を使って送る方式では通信費用が大きくなり運営費用を圧迫するので、同社では一定の

距離内の各戸設置のメーターからのデータを収集する中継器を置き、中継器と各戸のメーターセンサーとの間は独自方式の無線で収集し、中継器からセンターまでをPHS或いは携帯電話網で送る方式を採用しています。

同社は、韓国の企業と提携しており、センサー技術について導入し、逆にシステム技術を提供しています。この韓国企業経由で韓国のガス会社への自動検針システム商談が発生していますが、GIS機能付きのシステム部分は(株)シスコ・コミュニケーションズの担当です。国内でも幾つか具体的な商談が進行中で、対応に大忙しとなっています。

同社は、独自性を持つ無線技術単独の事業展開も企画しており、通信費用が安価に仕上がる事から、自然災害が発生したときの自治体と各戸の間の連絡にも応用できるのではないかと、提案を検討しているところです。

#### 会社概要

代表者	川西 博仁
設立	2004年6月
TEL	086-286-9325
URL	<a href="http://www.sc-c.co.jp">http://www.sc-c.co.jp</a>

# 新入居者（入居内定者）のご紹介

去る 12月 20日に第 8 回審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記の 2 社の入居の内定が発表されました。また、ベンチャープラザおかやま 2004のビジネスプランコンテストで最優秀賞に選ばれました三井氏も O R I C への入居が内定しております。

入居内定企業名 代表取締役	事業の概要	本社所在地	分野
(株)アスコルバイオ研究所 山本 格	・安定化ビタミンC誘導体を主成分とする食品、サプリメント、殺菌水溶液等の商品化および疾病予防に寄与する機能性物質の研究開発、委託製造、委託販売。	岡山市	バイオ
マナス・ジャパン(有) ガドギル・ニランジャン	・米国など海外ソフト製品の日本語化とインド開発リソースを前提としたニアショア・センターとしてのソフト受託開発	東京都	I T
三井 秀也	・医療用ハエ幼虫の製造・販売	岡山市	バイオ

## 求人案内

O R I C 入居企業より、求人募集のご案内です。詳細は直接、お問合せください。

### 株式会社 ネットワーク 2 1

～業務拡大につき営業スタッフ募集！！～

定員 / 正社員・若干名

職種 / I T 全般営業・営業アシスタント

対象 / ・ 22～ 30才位の、専門学校、大卒以上の方

・ パソコン知識のある方

・ 普通自動車免許をお持ちの方

勤務地 神戸・岡山

勤務時間 / 9:00～ 18:00(休憩 時間含む)

待遇・福利厚生 / 各種社会保険完備(雇用・労災・健康・厚生年金)賞与年 2回。家族手当、諸手当有り

詳細 / <http://www.nw21.co.jp>

お問合せ / (株)ネットワーク 2 1 本社

〒 761-8073 香川県高松市太田下町 221番地 5

TEL 087-864-3235 担当：芳澤

## 入居案内

O R I C では、意欲と能力にあふれたベンチャー企業の入居を募集しています！！

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。

### 施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室 小	約 25 m <sup>2</sup>	22	45,000 円
研究室 大	約 50 m <sup>2</sup>	30	88,000 円
試作開発室	約 100 m <sup>2</sup>	6	175,000 円

・入居後 3 年間は、更に 1 / 2 減免の制度もあります。

・複数室の利用も可能です。

### 募集概要

対象： 情報通信や、ものづくり分野を中心に  
新技術・新製品の開発、創業を目指す個人・グループ・企業。

期間： 3 年以内(再申請もできます)。

審査： 入居にあたり、審査があります。

### 次回募集

原則として 3 ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。次回は 2 月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3 月中に開催の予定です。

(参考)【入居可能研究室】(2005年 1 月現在)

研究室小 ( 25m<sup>2</sup> ) : 3 室

研究室大 ( 50m<sup>2</sup> ) : 1 室

試作開発室 ( 100m<sup>2</sup> ) : 5 室

### お問い合わせ

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター

TEL: 086-286-9116 FAX: 086-286-9117

E-Mail: [info@oric.ne.jp](mailto:info@oric.ne.jp)

詳細は O R I C ホームページをご覧ください。

<http://www.oric.ne.jp>